

数値目標の達成状況（がんセンター研究所）
医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

数値目標	単位	2023 実績	2024 目標	2024 実績見込	達成率	2025 目標	目標未達理由と今後の対策
1 研究員あたり研究英語論文数	件	3.4	3.5	3.6	102.9%	3.5	【今後の対策】 ・論文投稿の進捗管理の徹底を分野長と共有する。
学会・学術会議発表件数	件	108	75	94	125.3%	80	【今後の対策】 ・引き続き研究費獲得を確実に行うことで学会発表での成果発出に務める。
公的研究費獲得件数	件	81	80	76	95.0%	80	【目標未達理由】 ・分野長 1 名が 6 月着任、1 名が 10 月異動で、研究員数が減少し件数は伸びなかった。 【今後の対策】 ・分野内で応募可能な公的研究費は全て申請するよう分野長と意識を共有する。
公的研究費獲得額	千円	401,817	350,000	436,544	124.7%	350,000	【今後の対策】 ・大型研究費を含めた応募可能な公的研究費への申請の徹底を分野長と共有する。
病院との連携研究件数	件	63	50	65	130.0%	50	【今後の対策】 ・病院との連携研究での成果を共有するセミナーの開催など、積極的な共同研究推進を図る。
企業との共同研究件数	件	3	6	3	50.0%	6	【目標未達理由】 ・企業が萌芽的なレベルでの共同研究に消極的で結果が得られやすい研究に注力する傾向が高まっており、件数は減少し一件あたりの研究費が増加する傾向がある。 【今後の対策】 ・学会などでの企業への積極的な接触を図る。
企業との共同研究資金獲得額	千円	50,522	35,000	43,642	124.7%	35,000	【今後の対策】 ・学会などでの企業への積極的な接触を図る。
学術機関との共同研究件数	件	157	95	176	185.3%	95	【今後の対策】 ・論文での成果発出や公的研究費の共同申請などで、積極的な共同研究推進を図る。
若手がん研究者の受入数	人	35	45	42	93.3%	45	【目標未達理由】 ・分野長 1 名が 6 月着任、1 名が 10 月異動で、研究者受け入れが十分進まなかった。 【今後の対策】 ・学会などでの若手研究者への積極的な接触を図るよう分野長と意識を共有する。

【参考】公的研究費獲得状況（研究所分）

		2023 実績	2024 実績見込
文部科学省（日本学術振興会）補助金・基金	金額(千円)	166,065	188,689
	件数(件)	51	45
厚生労働省補助金	金額(千円)	900	650
	件数(件)	2	1
AMED（日本医療研究開発機構）	金額(千円)	192,352	217,097
	件数(件)	20	22
JST(科学技術振興機構)	金額(千円)	39,000	26,658
	件数(件)	1	3
国立がん研究センター研究開発費	金額(千円)	3,500	3,300
	件数(件)	7	6
その他	金額(千円)	0	150
	件数(件)	0	1
計	金額(千円)	401,817	436,544
	件数(件)	81	78